

令和6年度 第11号

令和7年3月3日(月)発行

学校教育目標:「ひと」とともに生きる生徒の育成

学校 Web ページ



# 植竹中だより



目指す生徒像:自ら考え、行動できる生徒「笑顔でおはよう」「笑顔でさようなら」1日を満足させる さいたま市立植竹中学校  
〒331-0804 さいたま市北区土呂町352 TEL 048(663)2115 FAX 048(665)6377

## 立場は人を成長させる

校長 上 続 昌 司

令和6年度もいよいよ最後の3月となり、1年がもうすぐ終わろうとしています。1年生は、小学校から中学校へと大きく環境が変わった中で、戸惑うことも多かったと思いますが、今ではすっかり慣れて、当たり前のように生活ができています。2年生は、初めて「後輩」ができ、先輩として恥ずかしくないように、また、後輩に負けないように励んでいました。3年生は、常に「最上級生」と言われ、その言葉に恥じないように努力していましたね。どの学年もその立場になってみて、初めて気づくことがあったのではないのでしょうか。私は、長年運動部の顧問をしていましたが、「立場は人を成長させるとは、このことだな」と実感した経験があります。陸上部の顧問をしていた当時の生徒についてです。

毎年、6月の学校総合体育大会が終了する頃、次の部長を誰にするのか考えていました。リーダーとしてみんなをまとめ、引っ張っていける人は誰か。他の部員も「この人なら」と認める人物が理想だと考えていましたが、その年はなかなか決めることができませんでした。みんな一生懸命に練習しているし、目標をもって取り組めていてはいるものの、「この人なら大丈夫」と言える存在という点で悩んでいたのです。それでも、私の中では候補として考えていた男子生徒がいたので、頼むことにしました。最初は迷っていましたが、しばらくして「部長をやらせてください」と、申し出てくれたのです。それまで、目立つ存在ではなくリーダー的な動きは無かっただけに、よく引き受けてくれたと思っていました。ただ、私の中では正直なところ「本当に大丈夫なのか」という気持ちはぬぐえませんでした。それから数日が経過し、2年生中心の練習が始まった初日に、その心配は吹き飛びました。なんとその生徒は、大きな声で部員に声をかけ、ぐいぐい引っ張っているのです。その後も、誰よりも早くグラウンドに来て、1年生がやっていた準備も手伝い、一生懸命に部長としての役割を果たしていました。日を追うごとに成長し、記録も伸びてきたのです。いつの間にかクラスや学年の仲間からも部長として、人として尊敬される存在となり、「立場は人を成長させる」と、実感させてくれたこの生徒の事は、今も忘れることができません。

3年生は、いよいよ4月から新しい環境の中で生活が始まります。2年生、1年生も学年が一つ上がり、立場が変わります。この機会をチャンスと捉え、いろいろな事に挑戦していきましょう。「自分には無理だ」と決めつけず、未来を切り拓いていきましょう。その立場に相応しい振る舞いを心がけることで、成長していけるのです。植竹中生の活躍を心から願っています。

最後になりましたが、地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、本年度も本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。次年度も引き続き、本校への教育活動に温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。